

「食物アレルギーひやりはっと事例集 2013」抜粋

保育所，幼稚園，学校で実際に起きた事例を抜粋しましたので，保育現場等での食物アレルギー対策の参考にしてください。この事例集は，NPO法人アレルギー支援ネットワークのホームページからダウンロードできます。（HPアドレス <http://www.alle-net.com/info/info06/info06-01-2/>）

【索引】

1 共通する基礎知識

事例 1	アレルギーを誘発するアレルゲンの量には個人差があります これくらいは大丈夫よ，きっと…
事例 2	ごくわずかな量で症状を起こす子もいます コップに残っていたミルクで大変なことが…
事例 3	その子の体調によって誘発量が若干変わることがあります 少しなら大丈夫と思って
事例 4	同種類の加工食品でもアレルゲン含有量には差があります このパンは大丈夫と思ったら…
事例 5	食物アレルゲンは接触や吸入でも起こします 紙袋に残っていた粉で喘息発作が…
事例 6	小麦ねんどは，小麦なんだよ！
事例 7	触った手で眼をこすってしまい…
事例 8	血液検査で陽性と判断されたすべての食品を除去する必要はありません

2 食物アレルギーに関する知識の不足による事例

事例 9	園でおやつのおかわりを間違えて配膳
事例 10	カルピスは牛乳からつくるの！？
事例 11	それが原因だったの？

3 情報共有不足による事例

事例 12	間違えて渡されたアメとパンケーキ，先生どうして？
事例 13	延長保育の時間におやつを食べて
事例 14	託児所は，万全のアレルギー対応と思っていたら…
事例 15	先生が「残さないように」と言ったため…
事例 16	給食センターと施設間の情報交換が不足すると

4 食事メニューや食事中に起きた事例

事例 17	お母さんが「オムレツ」を見落としちゃった！
事例 18	給食で出されたキムチでじんま疹が…
事例 19	食材がよくわからない料理だったのだけど…
事例 20	友達からおやつをもらってしまって…
事例 21	園でおかわりのシチューを食べて…
事例 22	しゃっくりが止まらなかったので友達が麦茶をくれました，そしたら…
事例 23	お泊り保育で
事例 24	家庭科の調理実習でのとき

1 共通する基礎知識

事例 1	アレルギーを誘発するアレルゲンの量には個人差があります これくらいは大丈夫よ、きっと…	
	年齢・性別	1歳 女児
	アレルゲン	卵, 牛乳
	原因食品	カステラ
	症状	全身じんま疹
	経過	それまでに3回卵の二次製品を食べて症状が出たことがあったため、園には食物アレルギーの話はしてありました。しかし、幼稚園のおやつの時間に先生が「これくらい大丈夫よ」とカステラを少量食べさせたとのことでした。5分くらいで全身じんま疹がみられ、抗ヒスタミン薬の内服をしてから病院を受診しました。
	解説	誘発する摂取量は、個人個人によって全く異なります。
対策	自己判断で安全に摂取できる量を定めることは避けましょう。医師に相談してください。	
事例 2	ごくわずかな量で症状を起こす子もいます コップに残っていたミルクで大変なことが…	
	年齢・性別	5歳 女児
	アレルゲン	牛乳
	原因食品	牛乳
	症状	じんま疹
	経過	園のおやつの時に、他の子どもが牛乳を入れて飲んだコップを洗ってから、うちの子のためにお茶を入れてくれたのですが、飲んだ後にじんま疹が出ました。手持ちの抗ヒスタミン薬の内服で落ち着きました。
	解説	コップに牛乳が残っていたためだと思います。園の先生がごく少量のミルクでもトラブルが起きることを十分認識しておらず、洗浄が不十分であったためと考えられます。
対策	間違っても飲まないようにするために、食物アレルギー児には専用の容器を使うこと。	
事例 3	その子の体調によって誘発量が若干変わることがあります 少しなら大丈夫と思って	
	年齢・性別	2歳 男児
	アレルゲン	じゃがいも
	原因食品	ポテトチップス
	症状	顔面の発赤と浮腫
	経過	その日は対象が悪くあまり食欲がなかった。じゃがいもはアレルギーがあったが、ポテトチップス5枚程度は食べて症状がなかったので、今回も5枚与えたところ、食べて15分後に顔面の発赤と浮腫が出現しました。
	解説	前回食べられたポテトチップス5枚でアレルギー症状が出てしまいました。アレルギーを誘発する摂取量は患者の体調で変わることがあります。
対策	この例のように体調が悪いとアレルギーが起きやすくなる場合があります。下痢、運動、入浴、鎮痛解熱剤、生理などが食物アレルギーを誘発しやすくなる要因です。	

事例 4	同種類の加工食品でもアレルギー含有量には差があります このパンは大丈夫と思ったら…	
	年齢・性別	5歳 女児
	アレルギー	卵
	原因食品	メロンパン
	症状	口唇の腫れとじんま疹
	経過	母親は「菓子パンの鶏卵くらいは大丈夫」と園に伝えていましたが、園におやつにでたメロンパンで、口唇の腫れとじんま疹がでてきました。
	解説	母親は（少量の卵が使用してある）菓子パンは大丈夫だというつもりでいた。しかし提供されたメロンパンは、菓子パンであることには間違いはないが、通常の菓子パンに比し卵が増量してあることが問題だった。卵の含有量が多かったので症状が出た。
対策	菓子パンでも商品によって卵アレルギー含有量に差があります。特にメロンパンはクッキー生地に卵が多く含まれるので注意が必要です。	
事例 5	食物アレルギーは接触や吸入でも起こします 紙袋に残っていた粉で喘息発作が・・・	
	年齢・性別	5歳 男児
	アレルギー	大豆
	原因食品	紙袋に残っていた大豆の粉
	症状	喘息発作
	経過	幼稚園で大きな紙袋を使い、紙の服を作って着るといふ工作の時に喘息が起きました。
	解説	この紙袋は、大豆を入れるのに使っていたことが後でわかり、大豆の粉じんを吸い込んだため喘息発作が起きたことが後でわかりました。
対策	使用済み紙袋の以前の使用内容を確認する。これ以外にも米、そば粉、小麦粉などを扱った後の物品は使用しない。	
事例 6	小麦ねんどは、小麦なんだよ！	
	年齢・性別	4歳 女児
	アレルギー	小麦
	原因食品	小麦粘土
	症状	じんま疹、結膜充血、眼瞼浮腫
	経過	小麦アレルギーがあることは、事前に園に伝えてあったのですが、小麦粘土の工作をしました。5分後に触った手からじんま疹が出現し、またその手で目をこすったため、結膜充血、眼瞼浮腫が起きました。抗ヒスタミンを飲ませ、目と手をよく洗い、ようやく落ち着きました。
	解説	食物アレルギーでは多くの患者で接触によるアレルギーを起こします。食べなければ大丈夫と思っていたため、このようなことが起きました。
対策	食物アレルギーは食べるだけでなく、皮膚や粘膜への接触でもアレルギー反応を起こします。特に目は出やすいので注意する。	
事例 7	触った手で眼をこすってしまい…	
	年齢・性別	5歳 男児
	アレルギー	卵
	原因食品	ゆで卵の殻についていたと思われる卵
症状	眼球結膜の腫れ	

	経過	保育園の行事で、ゆで卵にシールを貼った。自宅に帰ってきてから、卵に穴が開いていたためにそこに指を入れてしまい、その指で目をこすったら眼球結膜がだんだん腫れてきました。
	解説	ゆで卵に触れた手で白眼をこすってアレルギー症状が出た。
	対策	皮膚に触れても大丈夫でも、眼の中などの粘膜に触れるとアレルギー症状が出る場合があり、アレルゲンが手に触れた場合はしっかり手を洗う必要がある。卵アレルギー児のいる園では卵の殻を利用した工作は避ける。
事例 8	血液検査で陽性と判断されたすべての食品を除去する必要はありません 血液検査の結果で、除去、除去といわれ続けて、体重が…	
	年齢・性別	11カ月 男児
	アレルゲン	牛乳, 鶏卵, 小麦
	症状	アトピー性皮膚炎
	経過	生後3カ月ごろよりアトピー性皮膚炎と診断されました。アレルギーの検査をした項目はすべて陽性だったので、医師から離乳食は1歳ごろから開始するようにと指導を受け、その後は民間療法で治療をしていました。皮膚の症状はある程度落ち着いたのですが、10カ月健診の時、体重増加不良、発達遅延を指摘されてしまいました。
	解説	過度の食物除去療法による発育障害です。乳児において食物除去療法を行う場合は、特に代わりになる食物を積極的に検索して、成長、発達に影響の無いように十分配慮する必要があります。
対策	血液検査で特異的IgE検査が陽性であっても食べられる場合があります。やめる必要があるかないかを主治医に相談して食べられる食物を探してもらいましょう。もし、食べられるものがすぐに見つからない場合でも専門員の正しい指導を受け、ケースによっては食物アレルギーの知識のある栄養士による栄養管理も必要です。母子手帳などにある成長曲線をつけて発育の経過をきちんと見ていくことは大変重要です。また、食物アレルギーがある乳児でも離乳食の開始を遅らせる必要はありません。生後5~6カ月ごろが適切です。安全に食べることができる食品で栄養を確保して離乳食を進めていってください。	

2 食物アレルギーに関する知識の不足による事例

事例 9	園でおやつのおかわりを間違えて配膳	
	年齢・性別	3歳 女児
	アレルゲン	卵
	原因食品	園で出された卵入りクッキー
	症状	じんま疹
	経過	4月の慣れないパタパタしている時期に、卵アレルギーの園児がおやつのおかわりをしたところ、先生が間違えて卵入りのおやつをあげてしまい、食べたところじんま疹が出た。
	解説	先生は新任初日で仕事に慣れていませんでした。そのため、食物アレルギーに十分注意を払わず、あげてしまったそうです。また、おかわりということで、注意がおろそかになってしまっていた可能性もあります。
対策	先生が保育に慣れていない場合、特に給食の時間は先生を増やし、食物アレルギー園児に注意を払う必要があります。また、新任の先生にも、事前に食物アレルギーに知識をつけてもらうことが大事です。	

事例 10	カルピスは牛乳からつくるの！？	
	年齢・性別	5歳 女児
	アレルゲン	牛乳
	原因食品	乳酸菌飲料（カルピス）
	症状	じんま疹
	経過	先生が間違えておやつの際にカルピスを飲ませてしまいじんま疹が出ました。
	解説	先生はカルピスが牛乳からできていることを知りませんでした。
対策	食物アレルギーの患児がいる園では、食べさせる食品の原材料は事前に調べておくべきです。	
事例 11	それが原因だったの？	
	年齢・性別	5歳 女児
	アレルゲン	牛乳
	原因食品	牛乳石鹸
	症状	手洗いの後の手の発赤
	経過	園で手洗いの後、手首から指にかけて時々赤くなることがありました。原因はわからないまま同じ症状を繰り返していましたが、ある日、母が園に問い合わせると「石鹸は家庭から持ち寄ってもらい、皆で使っている。銘柄の指定はしていない」といわれました。確認すると牛乳石鹸も含まれていました。共用の石鹸を使わなくなると手が赤くなる症状は出なくなりました。
解説	当初、誰もまさか石鹸が原因でアレルギー症状が出るとは思っていなかったため、同じ症状を繰り返していました。食物アレルギーのお子さんは、原因食品を食べる以外に、触ったり、吸入することによっても症状が出る恐れがあることを保育士は知っておく必要があります。	
対策	園で共用の石鹸を家庭から持ち寄ってもらう際は、食品成分が含まれていないものにしましょう。	

3 情報共有不足による事例

事例 12	間違って渡されたアメとパンケーキ、先生どうして？	
	年齢・性別	5歳 女児
	アレルゲン	卵、牛乳、小麦
	原因食品	フルーツアメ（牛乳入り）、卵と牛乳を除去したパンケーキ（小麦）
	症状	全身のじんま疹と喘鳴
	経過	食物アレルギーについて担任の先生には話してあったのですが、担任の不在中に、牛乳入りのフルーツアメや小麦で作られた卵と牛乳を除去したパンケーキが配られたりしたことがありました。 アメの場合は軽いじんま疹で、すぐに主治医と電話相談をして抗ヒスタミン薬内服のみで落ち着きましたが、パンケーキの場合はじんま疹に加えて喘鳴まで出現し、救急車で病院へ搬送され入院となりました。
解説	担任の先生以外の保育園スタッフが、この児の原因食物をきちんと把握していなかったため生じました。	
対策	スタッフ全員が患児の状況を共有することが大切です。できれば数カ月一度スタッフ（園長、担任、給食責任者）と養育者で情報交換をする機会があると良いです。主治医から食物除去の指示書を記載してもらい、症状が出た時の対処方法について文書で園に伝えることも重要です。	

事例 13	延長保育の時間におやつを食べて	
	年齢・性別	1歳 男児
	アレルゲン	卵
	原因食品	卵を使用したプリン
	症状	じんま疹
	経過	延長保育の時間におやつがでました。担任の先生は食物アレルギーについて理解していましたが、その時は別の先生が担当していました。担任でない先生は、児の卵アレルギーのことを聞いておらず、卵を使用したプリンをおやつで与えてしまい、食べて児は全身にじんま疹が出現しました。
	解説	掲示板にはアレルギー児の情報が記載されていましたが、直接担任の先生に伝達はなく、掲示板の確認を怠ったため原因アレルゲン入りのおやつを渡してしまいました。
対策	食物アレルギーのことを掲示板だけでなく、直接口頭で伝えること、また、配膳トレーに原因のアレルゲンを記載したカードを載せることも配膳の間違いを防ぎます。食物アレルギー児のエプロンに食物アレルギー状況を大きく記載するのも良い方法と考えられます。	
事例 14	託児所は、万全のアレルギー対応思っていたら…	
	年齢・性別	2歳 女児
	アレルゲン	卵・牛乳・そば・ピーナッツ
	原因食品	他人のお弁当
	症状	じんま疹、咳、喘鳴
	経過	母親が子育てセミナーに参加するため、主催者側が用意した託児所に預けたとき、他人の弁当に入っていた卵焼きを食べてアレルギー症状を起こしました。じんま疹、咳、喘鳴まで生じ、救急病院で点滴治療となりました。
	解説	託児所のルールとして「具なしおにぎり、お茶のみ」であったにもかかわらず、ルールを守らない出席者がいたため起こったと考えられます。
対策	託児所に食物アレルギーの子どもを預けるときは、主催者側に伝えておく必要があります。「具なしおにぎり、お茶のみ」というルールのみで食物アレルギー対応であると判断ができません。託児所のルールを守らない人もいるので、誤食事故が起きないように主催者側もしっかり目を配る必要があります。	
事例 15	先生が「残さないように」と言ったため…	
	年齢・性別	10歳 男児
	アレルゲン	キウイフルーツ
	原因食品	給食に出たキウイフルーツ
	症状	全身じんま疹、咳、喘鳴
	経過	本人は、キウイフルーツを食べて喘鳴が出たことがあるため、医師からも食べないように言われていた。しかし、先生から給食に出たものは残さないようにと言われたため無理に食べたところ、全身じんま疹と咳、喘鳴が出現しました。学校から救急外来に搬送され、抗ヒスタミン薬の内服、気管支拡張剤の吸入、ステロイドの点滴注射などをして落ち着きました。
	解説	保護者からの食物除去依頼書の提出も、医師からの指示もなく、学校からの聞き取りもなかったことにより、事故が起きました。
対策	専門医の正しい食物アレルギーの診断が下った場合は、医師の指示書とともに、給食対応の依頼書を提出するのが良いでしょう。学校では、担任の先生、養護の先生、栄養士さんとの話合いの場をつくってもらってください。医師からのアレルギー疾患管理表も有用です。	

事例 16	給食センターと施設間の情報交換が不足すると	
	年齢・性別	11歳 男児
	アレルゲン	ピーナッツ
	原因食品	調味料（豆板醤）
	症状	じんま疹
	経過	いつもの業務用豆板醤が、メーカーの製造中止になり、急に別のものに変更になり、回鍋肉に使用されました。生徒が口に入れて、痛みを先生に訴えたため学校側から給食センターに問い合わせをした結果、ピーナッツオイルが使用されていることがわかりました。
	解説	いつも給食で使っている豆板醤のメーカーが変更になってその変更先のメーカーの物にピーナッツオイルが入っていたために誤食事故を起した症例です。
対策	給食で使用の食品メーカーが変わる際には、少量しか使わない調味料ひとつにしても必ず連絡がもらえるように学校の先生に事前にお問い合わせをお願いします。アレルギー物質表示を確認して保護者に連絡することが重要です。	

4 食事メニューや食事中に起きた事例

事例 17	お母さんが「オムレツ」を見落としちゃった！	
	年齢・性別	7歳 女児
	アレルゲン	卵
	原因食品	学校給食のオムレツ
	症状	じんま疹、皮膚のかゆみ、口唇・口腔の違和感
	経過	学校給食のオムレツを一口食べてしまいました。5分以内にじんま疹、皮膚のかゆみ、口唇、口腔のピリピリ感があり、本人がすぐに吐き出して、口の中を洗ったため、大事には至りませんでした。
	解説	卵アレルギーがあるため、給食のメニューで卵料理が出る場合は、母親が代替食を持参することになっていましたが、母親がメニューを見落とし、代替食品を持たせなかったため、本人は配膳されたまま食べてしまいました。担任の先生も、この児の食物アレルギーに対して理解が不十分で給食内容も母親任せで注意を払っていませんでした。
対策	誤食事故を防ぐには、二重三重のチェックが必要です。給食対応は母親任せでなく、学校全体で食物アレルギー児を把握し、注意しなければなりません。	
事例 18	給食で出されたキムチでじんま疹が…	
	年齢・性別	9歳 女児
	アレルゲン	ゴマ
	原因食品	キムチ
	症状	じんま疹
	経過	給食で出されたキムチを食べたところじんま疹がでました。献立表にはゴマの表示はなく、除去指定ですが配膳されていました。後で確認したところ、ゴマが入っていることが判明しました。
	解説	ゴマ除去と伝えてありましたが、献立の原材料にゴマの表示がなかったので、家族は気が付きませんでした。
対策	ゴマは表示の対象ではありませんが、ゴマアレルギー症例が増えています。ゴマアレルギーであることを伝え、出来れば原材料にゴマを記載してもらおうようにしましょう。	

事例 19	食材がよくわからない料理だったのだけど…	
	年齢・性別	1歳 女児
	アレルゲン	ゴマ
	原因食品	豆腐チャンプルー
	症状	じんま疹, 目のかゆみ, 眼球充血, 喘鳴
	経過	月初めに献立表をもらい, 除去をしてもらう料理をチェックし, 提出してしまいました。食材の中には, ゴマを使用しているか, 使用していないか分からなかったため, 除去をチェックせずに提出していました。残念なことにゴマ油が混入しており食べた直後よりじんま疹, 目のかゆみ, 眼球結膜充血, 喘鳴まで生じてしまい病院を受診しました。
	解説	わからない食材をしっかりと確かめなかったために誤食してしまった。
対策	献立表をチェックしてアレルゲンかどうか, わからない食材が使用されている場合は栄養士さん, 調理師さんに必ず確かめるようにしてください。原因アレルゲンが入っているかどうかわからない料理は原則として除去するほうが安全です。	
事例 20	友達からおやつをもらってしまって…	
	年齢・性別	3歳 男児
	アレルゲン	牛乳
	原因食品	牛乳入りのアメ
	症状	じんま疹
	経過	園が主催のサマーキャンプの帰りのバスの中で, おやつタイムとなり, たまたま隣の席の友達が持参していたおやつ(牛乳入りのアメ)を牛乳アレルギーの友達にあげてしまい, 食べたアレルギー児はじんま疹が出現しました。
	解説	食物アレルギーを理解できない年齢で起きやすい事故です。
対策	おやつタイムの間も, 園児の観察が大切です。	
事例 21	園でおかわりのシチューを食べて…	
	年齢・性別	3歳 女児
	アレルゲン	牛乳
	原因食品	おかわりのシチュー
	症状	じんま疹, 嘔吐, 腹痛
	経過	園では牛乳除去となっていたが, 牛乳除去シチューを食べた後, お代わりをしました。そのとき, 誤って牛乳除去でないシチューをお代わりで食べさせてしまいました。食べた直後に腹痛を訴え, 嘔吐し, 全身にじんま疹が出ました。母親と連絡を取り主治医の病院に搬送し, ステロイドの点滴注射の処置で症状は軽快しましたが, 大事を取ってその日は入院することになりました。
	解説	牛乳入りも, 牛乳除去のシチューも見た目はまったく区別がつかないため, 除去食は色の違うお皿とスプーンが使用されていましたが, お代わり用はお皿の色は除去されていないものとは同じ色でスプーンのみ色を変えてあったそうです。そのため, 除去していないシチューが誤って与えられてしまいました。
対策	普通食と除去食とを誰が見ても区別できるように, 除去したアレルゲンを明記したカードをつけるべきです。色を変えたり, スプーンの形を変えるだけでは, 区別のルールを知らないスタッフには判断できません。配膳するときには, 指さし呼称で確認することも大切です。	

事例 22	しゃっくりが止まらなかったので友達が麦茶をくれました，そしたら…	
	年齢・性別	3歳 男児
	アレルゲン	大麦
	原因食品	麦茶
	症状	じんま疹
	経過	園で遊んでいるとき，しゃっくりが止まらず困っていました。そのとき一緒に遊んでいた友達が，親切に，自分の持っている麦茶をくれました。麦茶を飲んだところ，全身にじんましんが出現しました。
	解説	自由遊びの時間で先生の目が行き届かないときに起こりました。また，食事の時間でなく遊びの時間でだったため，誤食の危険を予測していなかったと思われます。麦茶は大麦アレルギーがあっても多くの患児は飲むことができますが，大麦アレルギーの強い患児はアレルギーを引き起こすことがあります。
対策	園のスタッフ全員が食物アレルギーのことを把握し，食事時間以外も目を配ると同時に，他の園児にも食べられないものがあることを知ってもらい，飲み物や食べ物の交換をしないように説明することが大事です。	
事例 23	お泊り保育で	
	年齢・性別	5歳 男児
	アレルゲン	牛乳
	原因食品	お泊り保育中のレストランでの代替食
	症状	じんま疹
	経過	お泊り保育に行きました。幼稚園の園長先生と食事で打ち合わせを行い，夕食は除去食の予定でしたが，宿泊先レストランが配慮して出した代替食を食べたところじんましんが出現した。母親から症状出現時に飲ませるよう渡されていた抗ヒスタミン薬で症状は軽快しました。
	解説	宿泊先のレストラン側としては，牛乳の加工食品ではアレルギーは起きないものと考えていたため，せっかくの配慮が事故となってしまいました。安易な代替食は提供される側もする側も慎むべきです。
対策	代替食の場合は，事前にメニューの確認と打ち合わせを行いましょう。	
事例 24	家庭科の調理実習でのとき	
	年齢・性別	12歳 男児
	アレルゲン	卵，牛乳，小麦，バナナ，ココア
	原因食品	マフィン
	症状	のどの痛み
	経過	家庭科の調理実習でマフィンを作りました。卵，牛乳，小麦，バナナ，ココアを使用し，オーブンで焼きました。きれいな焼き色になり，先生の指示のもと，取り出し，食べたところ，30分後に喉が痛くなりました。
	解説	今まで食べても症状が出なかったもので，注意を払っていませんでした。今回は過熱が十分にされていないため，症状が出現した可能性があります。
対策	十分に加熱した食品を食べて異常がない場合でも，加熱が不十分だったりすると症状が出る場合があります。また，調理中に（調理中に使った原材料の片づけが不十分であれば調理後に）原因食品を吸入したり，接触によってもアレルギー症状を起こすこともあります。	

保育所における食物アレルギー対応のポイント
～生活管理指導表の活用マニュアル～

平成 26 年 2 月 19 日発行

平成 26 年 2 月 21 日追補

発行者 広島県健康福祉局健康対策課

〒730-8511 広島市中区基町 10-52

TEL 082-513-3175

FAX 082-228-5256